



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月6日

上場会社名 ヘリオス テクノ ホールディング株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6927 URL http://www.heliostec-hd.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)齊藤 定一  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役統括管理部長 (氏名)川坂 陽一 (TEL) 079(263)9500  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	17,829	36.0	2,761	104.6	2,716	101.7	1,928	97.9
29年3月期第3四半期	13,110	19.6	1,350	32.4	1,346	31.9	974	39.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,085百万円(99.4%) 29年3月期第3四半期 1,045百万円(39.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	106.62	106.58
29年3月期第3四半期	54.25	54.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	18,126	11,301	62.3
29年3月期	16,594	9,571	57.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 11,301百万円 29年3月期 9,568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成29年12月27日に公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」にて、平成30年3月期の期末配当予想を修正しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,800	39.0	2,900	109.1	2,880	109.3	2,050	79.1	113.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期3Q	22,806,900株	29年3月期	22,806,900株
30年3月期3Q	4,708,710株	29年3月期	4,768,710株
30年3月期3Q	18,088,590株	29年3月期3Q	17,969,281株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項  
(業績予想について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの主要マーケットである液晶パネル用設備投資は、G8.5、G10用を中心に活発に推移しており、今後も継続すると思われます。有機ELパネル用の設備投資も活発であります。

このような経営環境のなか、当社グループにおいては、配向膜用フレキシ印刷装置及び露光装置用光源ユニット装置、また、有機ELパネル用を含む種々の用途に対してインクジェット精密印刷機等の売上が引き続き好調に推移しています。インクジェット精密印刷機の大量受注については、当期第2四半期に続き、第3四半期に追加受注分の売上を計上いたしました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同期と比べ47億18百万円(36.0%)増収の178億29百万円となり、営業利益は14億11百万円(104.6%)増の27億61百万円、経常利益は13億69百万円(101.7%)増の27億16百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億53百万円(97.9%)増の19億28百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりとなります。各金額については、セグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。

#### ①ランプ事業

ランプ事業につきましては、露光装置用光源ユニット装置の売上が順調に伸びているため、紫外線ランプが増収となり、LEDを含む一般照明用ランプの落ち込みをカバーしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比3.2%増の26億34百万円、セグメント利益は、前年同期比59.2%減の33百万円となりました。

#### ②製造装置事業

製造装置事業につきましては、インクジェット精密印刷機の大型案件の追加分が完納されました。また、露光装置用光源ユニット装置も計画を上回る売上となり、好調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比51.9%増の119億72百万円、セグメント利益は、前年同期比103.5%増の28億87百万円となりました。

また、当第3四半期連結会計期間末現在の受注残高は、104億81百万円となっております。

#### ③人材サービス事業

人材サービス事業につきましては、技術者派遣、設計請負及び製造派遣を行っております。技術者派遣、設計請負については、地域密着型の事業のため、スタッフの質的向上、顧客ニーズにあった対応を行い、営業強化を図り安定した業績で推移しました。製造派遣については、派遣者数の増加に努めた成果が出ました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比20.6%増の32億74百万円、セグメント利益は、前年同期比26.2%増の1億79百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ13億74百万円増加し、152億5百万円となりました。その主な要因は、仕掛品が9億83百万円、前渡金が7億80百万円増加した一方、現金及び預金が7億50百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億57百万円増加し、29億21百万円となりました。その主な要因は、投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券が1億75百万円増加した一方、有形固定資産のその他に含まれる機械及び装置が49百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ15億32百万円増加し、181億26百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3億98百万円減少し、61億74百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が6億45百万円、未払法人税等が1億93百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億60百万円増加した一方、前受金が13億67百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億1百万円増加し、6億50百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が1億34百万円、固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が70百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億97百万円減少し、68億24百万円となりました。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ17億30百万円増加(18.1%増)し、113億1百万円となりました。その主な要因は、剰余金の配当を3億60百万円行った一方、親会社株主に帰属する四半期純利益が19億28百万円あったことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、上述の資産の増加及び負債の減少を受け、前連結会計年度末に比べ4.6ポイント上昇し、62.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間の業績を勘案し、平成29年11月7日に公表いたしました平成30年3月期通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成30年2月6日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,181,297	3,430,385
受取手形及び売掛金	5,295,829	5,995,216
商品及び製品	327,077	254,780
仕掛品	2,548,426	3,531,873
原材料及び貯蔵品	547,003	639,297
前渡金	229,597	1,009,830
その他	704,332	347,163
貸倒引当金	△2,613	△2,960
流動資産合計	13,830,950	15,205,587
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	723,951	745,564
土地	800,623	841,913
その他（純額）	540,473	518,342
有形固定資産合計	2,065,049	2,105,820
無形固定資産		
のれん	32,016	16,008
その他	81,345	83,137
無形固定資産合計	113,361	99,146
投資その他の資産		
その他	641,535	778,325
貸倒引当金	△56,754	△62,214
投資その他の資産合計	584,780	716,110
固定資産合計	2,763,191	2,921,077
資産合計	16,594,142	18,126,665

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,053,728	2,699,444
短期借入金	300,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	181,663	342,528
未払法人税等	241,480	434,905
賞与引当金	316,463	198,242
製品保証引当金	25,914	30,021
前受金	2,786,158	1,418,299
その他	667,623	950,753
流動負債合計	6,573,032	6,174,194
固定負債		
長期借入金	252,515	386,632
その他	197,211	264,164
固定負債合計	449,726	650,796
負債合計	7,022,758	6,824,991
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,133,177	2,133,177
資本剰余金	2,563,867	2,563,867
利益剰余金	5,919,007	7,480,252
自己株式	△1,194,133	△1,179,109
株主資本合計	9,421,918	10,998,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146,645	303,486
その他の包括利益累計額合計	146,645	303,486
新株予約権	2,820	—
純資産合計	9,571,383	11,301,674
負債純資産合計	16,594,142	18,126,665

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	13,110,580	17,829,294
売上原価	9,534,346	12,289,255
売上総利益	3,576,234	5,540,038
販売費及び一般管理費	2,226,180	2,778,165
営業利益	1,350,054	2,761,873
営業外収益		
受取利息	241	91
受取配当金	14,083	14,308
業務受託手数料	3,600	—
雑収入	9,832	10,471
営業外収益合計	27,757	24,870
営業外費用		
支払利息	9,698	9,867
為替差損	—	13,050
シンジケートローン手数料	17,000	43,640
雑損失	4,439	3,605
営業外費用合計	31,137	70,163
経常利益	1,346,674	2,716,580
特別利益		
固定資産売却益	126	103
特別利益合計	126	103
特別損失		
固定資産除却損	210	931
固定資産売却損	9,352	—
特別損失合計	9,562	931
税金等調整前四半期純利益	1,337,238	2,715,752
法人税、住民税及び事業税	312,907	697,586
法人税等調整額	49,567	89,505
法人税等合計	362,474	787,092
四半期純利益	974,763	1,928,660
親会社株主に帰属する四半期純利益	974,763	1,928,660



四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	974,763	1,928,660
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71,032	156,840
その他の包括利益合計	71,032	156,840
四半期包括利益	1,045,796	2,085,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,045,796	2,085,501
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

当社連結子会社のナカンテクノ株式会社は、賃借契約に基づき使用する佐倉第2工場について、退去時における原状回復に係る債務を有しておりますが、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、移転等も予定されていなかったことから、資産除去債務を合理的に見積ることができず、当該債務に見合う資産除去債務を計上しておりませんでした。

当第3四半期連結会計期間において、生産性向上を目的とした本社工場への移転の意思決定に伴い、当該賃借資産の使用期間及び原状回復義務の履行時期を合理的に見積ることが可能となったため、利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、また退去時における原状回復に係る債務25,000千円を流動負債のその他に含まれる資産除去債務に計上しております。

なお、当該見積りの変更により、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益がそれぞれ14,650千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	人材 サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	2,525,213	7,879,443	2,705,923	13,110,580	—	13,110,580
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26,663	4,991	9,505	41,159	△41,159	—
計	2,551,877	7,884,434	2,715,429	13,151,740	△41,159	13,110,580
セグメント利益	82,178	1,419,038	142,113	1,643,330	△293,276	1,350,054

(注) 1 セグメント利益の調整額△293,276千円には、セグメント間取引消去3千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△293,279千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	人材 サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	2,594,832	11,972,130	3,262,330	17,829,294	—	17,829,294
セグメント間の内部売上高 又は振替高	39,791	588	11,719	52,098	△52,098	—
計	2,634,623	11,972,718	3,274,050	17,881,392	△52,098	17,829,294
セグメント利益	33,528	2,887,802	179,365	3,100,696	△338,823	2,761,873

(注) 1 セグメント利益の調整額△338,823千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「ランプ事業」及び「製造装置事業」の実態をよりの確に把握するため、両事業の測定方法を見直しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の方法により作成したものを記載しております。